

校報 ひがし

ふるさとに誇りを持ち、心豊かでたくましく生きる

平成30年7月1日
たつの市立揖西東小学校
発行：校長 伊藤 忠司

No4

七十二候～季節を感じさせてくれた子ども達～

6月のはじめに、運動場の花壇のあたりで、子ども達がそっと小さな入れ物を持ってきてくれました。おそろおそろその中を覗いてみると、体調1cmくらいのうす緑色をした小さなカマキリがいるではありませんか。

「もっといるはずだよ」と指差す先には、カマキリの大きな卵！

もうカマキリが孵化して人目に触れる頃なんだなあと、子ども達とともに季節を感じていました。

そういえば6月のはじめは、気象の動きや動植物の変化を知らせる七十二候（しちじゅうにこう）では、螻蛄生（かまきりしょうず）といって、卵から数百匹の子が誕生する頃としています。

このように、私たちは古くから移り行く四季を五感で感じ取って季節感を与える言葉を作り、そして、季節ごとの歳時や年中行事を大切にしてきたのでしょ。

よく暦の上では〇〇といいます。

〇〇には、七十二候と同じように季節を表す言葉が入ります。詳しくはこの紙面で述べることはできませんが、七十二候のもとになった二十四節気という言葉が入ります。

それによると、暦の上ではもうすぐ小暑（しょうしょ）です。（小暑とは暑さがしだいにます頃をさす）

そして、さらに季節感のある七十二候では、7月の初めの頃を、温風至（あつかぜいたる：7月7日頃）としており、熱い風が吹き始め、日に日に暑さが増してきます。

また、7月の中旬は、蓮始開（はすはじめてひらく：7月12日頃）蓮の花が咲き始める頃として記述があります。季節感を味わうことも少なくなってきた今日この頃ですが、せっかくこの美しい日本に生まれたのですから、優美で清らかな蓮を楽しむなど、少しでも日々の暮らしに季節感を取り入れて心のゆとりを感じたいものです。季節をはこんでくれた子ども達に感謝しています。

（参考文献 暮らしの日本語辞典 学研教育出版）

（「気候」という言葉は、「二十四節気」と「七十二候」からできたようです）



【7月の行事予定】

日	曜	校内行事	日	曜	校内行事
1	日	開校記念日（創立146年）	18	水	給食終了 地区児童会 地区別下校 地区懇談会
2	月	代表委員会・民推協揖西支部東小校区幹部研修会	19	木	移動図書館(3年返却)
5	木	特別支援交流会 クラブ活動③	20	金	終業式
7	土	ひょうご自転車大会	21	土	青少協夏休み巡回活動・こどもの明日を拓くつどい
10	火	個別懇談会①	22	日	たつの市水泳大会・リサイクルデー②
11	水	個別懇談会②・読書ボランティア	24	火	地区水泳開始(～3日)
12	木	個別懇談会③	26	木	大倉学級
16	月	海の日	28	土	大倉学級(お話会)
17	火	貯金日			

【3年生 ヤゴ救出大作戦】・・・6月1日

童謡あかとんぼが生まれた町” たつの”。1日には、揖西東小学校3年生が、学校のプールに住んでいるヤゴを救出しました。もうすぐプールが始まるために、ヤゴも住処を奪われてしまいます。

そんなヤゴ達を救出しトンボ池に放そうと、手に網をもった子ども達がどんどんヤゴを捕まえていきます。

NPO 法人たつの・赤トンボを増やそう会の前田さんから、実際に赤トンボのヤゴを見せていただいた3年生が捕まえたのは、シオカラトンボが多かったようです。

捕まえた総数は、286匹。その内10匹を学校のピオトープへ、そして、それ以外はトンボ池へ運ばれていきました。がんばって救出してくれた3年生にありがとうの言葉を送ります。



【高学年 プール清掃】・・・6月4日

6月の青い空の下、今日は高学年が水泳に備えて、プール清掃をしました。

4年生は、周辺の草などを集め、5・6年生はプール内のたくさんの泥を集め、きれいな床が見えるように磨いてくれていました。

こうして高学年のおかげで、美しいプールで水泳ができるんだなあと感謝しています。



【2年生町探検パートⅡ】・・・6月7日

前回は雨の中、学校の東方面へ出かけましたが、今回は西方面へ探検に出かけました。

まず訪れたのはイトメンです。伊藤製麺として始まったイトメンの秘密をたくさん教えていただきました。そして、次の目的地は、セブンイレブンと小河石油。2つのグループに分かれて出発です。

どこを訪問しても安心安全の二文字が出てきます。そして、笑顔も！お客さんの笑顔を大切にされているのを実感した町探検パートⅡでした。

お忙しい中、児童の活動にご協力いただきましたこと、心より感謝しております。ありがとうございました。



【4年生：海に学ぶ体験事業】・・・6月11日,12日

台風が心配された、この海に学ぶ体験事業も学校を予定通り出発することができました。2日とも天候に恵まれ、気持ちのよい潮の香りがする室津港で魚や蛸と戯れ、漁船で道の駅までもどってきました。

瀬戸内の食材を使ったシーフードカレーは、忘れられない味だったことでしょう。

自分で魚をさばいたり、蛸の塩もみをしたりして作った料理です。中でもせんべいのような魚の骨のから揚げは絶品だったようです。何度も何度もおかわりに行く姿に、食べすぎでは？と心配になりました。

